

いよいよ、☆夢の新中学校☆が開校します！

田川市教育委員会 教育長 吉 柳 啓 二

私は、この「GuRuMi」や住民説明会において、「教育委員会は、施設整備のハード面だけでなく、教育内容などのソフト面でも、最高の教育環境の“夢の新中学校”を創設するために全力を尽くします！」と述べてきました。

いよいよ、その新中学校が開校する4月が目前に迫ってきました。今回は、教育委員会・学校・PTA・地域・関係機関等が「最高の教育環境整備」を目指して進めてきた取組を紹介します。

①校舎の設備

まずは、現代的で明るく広い校舎に関する取組です。学年を超えて多目的な活動ができる「ラーニングセンター」を中心に「教室」「体育館・武道場」「給食調理室」等、全てが冷暖房完備となっています。また、各階には職員室とは別に各学年の教職員のミーティングルームがあり、その学年の生徒の見守りを行いながら、生徒からの質問・相談などを即座に受けられるような工夫をしています。これらの設備については、次ページに写真も載せていますので、ぜひご覧ください。

②生徒同士のつながりを深める取組

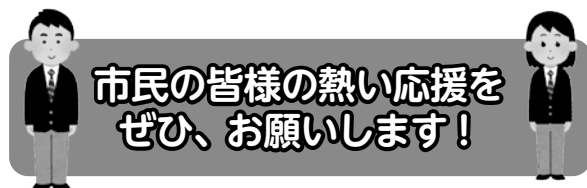
次に、8つの現中学校生徒たちのつながりを深める取組です。新中学校の開校を見越して、平成28年から市内中学校の生徒同士によるつながり作りを、生徒会サミットを中心に進めてきました。

第1回生徒会サミットは「新中学校に期待すること・不安なこと」をテーマに、各学校で話し合ったことを出し合いました。生徒たちの期待することは「冷暖房完備の素晴らしい校舎」「生徒数の増加による部活動の活性化」「自校方式のおいしい給食」「各中学校の良さや伝統が重なり合う新中学校」など、不安なことは「学校が遠くなる」「学校ごとのグループ化」などが出されました。

その後も、生徒会サミットは様々なテーマで14回開催され、「私たちの考える新中学校の制服」のテーマで議論した際に生徒たちから出された「LGBTQを意識した、スラックス・スカート・キュロットの選択制」は、「新中学校の制服」に取り入れられました。生徒たちは生徒会サミットを行う度に、新中学校づくりの担い手としての意欲を高めていきました。

これらの取組を受け、今後は、以下の3点を中心にソフト面の充実を図りたいと考えています。

- (1)小中一貫校である猪位金学園の成果を生かし、東中・西中学校区の小中学校で「目指す子ども像」「教育内容・方法」を共有し、小中学校の義務教育9か年で学力・社会性・個性を伸ばし、郷土愛を育む教育体制づくりを強化します。
- (2)新中学校のコンセプトである「地域とともにある学校」を実現するため、学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校を核とした地域づくりを目指す「地域学校協働活動」を一体的に進めます。
- (3)新中学校を中心に田川の歴史・文化遺産(ひと・もの・こと)をフル活用して“熱い郷土愛”を育む「ふるさと教育」を強化していきます。



市民の皆様の熱い応援を
ぜひ、お願いします！